

畜産ネットワーク ちば

2026年5月14日
第66号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会
〒260-0021
千葉市中央区新宿1-2-3
K&T千葉ビル
発行人 森 英介

新年度を迎えてのごあいさつ



千葉県農林水産部長
高橋 輝子

昨年度に引き続き、千葉県農林水産部長を務めます、高橋でございます。公益社団法人千葉県畜産協会の会員の皆様及び畜産関係の皆様には、日頃から本県畜産の振興に御理解・御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本県における畜産業は、令和6年の畜産産出額が1,464億円と全国第5位に位置し、農業産出額の約3割を占めるなど、重要な部門となっております。しかしながら、担い手の減少や生産コストの増加、さらに夏季の高温による生産性の低下など、畜産経営を取り巻く環境は一段と厳しさを増しています。特に、昨今の中東情勢の悪化により、国際物流の停滞やエネルギー供給の不透明化が生じ、それらが輸送コストや燃料・生産資材の調達環境にも影響していることから、生産基盤のさらなる強化が必要となっております。

また、昨年度は本県で高病原性鳥インフルエンザの発生が2事例確認されました。さらに、豚熱については令和7年3月に県内で初めて1事例が確認されており、防疫体制の強化が改めて重要となっております。

このような中、県では、新たな農林水産業振興計画を策定しました。当計画では「稼げる農林水産業の実現と農山漁村の活性化」を目標に掲げ、特に畜産分野においては「持続可能な畜産業の実現」に取り組むこととしております。これに基づき、令和8年度は主に次の施策を推進してまいります。

1 家畜の生産性・ブランド力の向上と労働環境の改善

乳用牛や肉用牛の生産性向上を図るため、ゲノミック評価や受精卵移植の活用により、優良な家畜を確保・育成するとともに、牛肉の脂肪の質を分析し肉質改善につなげることで、ブランド力の向上を目指します。また、家畜の暑熱ストレスへの対応として、暑熱対策技術の効果を検証し、夏季の生産性の維持・改善を図ります。さらに、労働環境の改善に向けたスマート農業技術の導入により、作業の省力化を推進します。

2 自給飼料等の生産・利用拡大

輸入飼料に過度に依存しない畜産経営の確立のため、自給飼料の生産性向上や面積拡大につながる機械の導入支援、「耕畜連携」による家畜ふん堆肥の活用促進や、自給飼料の増産を推進します。

3 県産畜産物の販売促進

関係団体等と連携したフェアやイベントの実施・参加により、県産畜産物のPR活動を行います。また、効果的な情報発信により、県産畜産物の販路を開拓するとともに消費者の購入機会を拡大します。

【主なイベントや取組等】

- ・千葉県畜産フェア
- ・ミルクフェスティバル、おいしい牛乳をありがとう絵手紙コンクール
- ・千葉県産銘柄豚肉のソーセージ2種を活用したフェアの実施や催事イベントでの提供など、県産豚肉を用いた加工品のブランド化に向けた取組

4 家畜伝染病に対する防疫体制の強化

飼養衛生管理基準の遵守に向けた指導を徹底するとともに、発生予防対策として効果が見込まれる資機材の導入促進、大規模農場での発生や連続発生に備えた防疫資機材の備蓄強化など、家畜伝染病の発生予防・まん延防止に取り組めます。また、獣医系大学生に対する修学資金の貸付けにより、産業動物獣医師の確保を図るなど、防疫体制の強化に取り組めます。

これらの県施策の推進につきまして、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。最後になりますが、会員及び関係者の皆様並びに本県畜産の益々の御発展を祈念申し上げます。年度当初の挨拶とさせていただきます。

令和7年度第2回通常理事会

令和8年3月2日午後1時30分からホテルプラザ菜の花にて理事11名、監事4名の出席のもと通常理事会が開催されました。

理事会に先立って、公益社団法人中央畜産会主催の全国優良畜産経営管理技術発表会に出品した柏市で養豚を営む株式会社惣左衛門の経営事例が優良賞を受賞し、寺田幸代代表取締役に対し、伝達授与が行われました。

その後会長を議長として議事に入り、「令和8年度事業計画及び収支予算について」「就業規則の一部改正について」及び「旅費規程の一部改正について」の3議案を上程し、いずれも原案どおり可決され、令和8年度予算が成立しました。

続いて、「代表理事及び業務執行理事の職務遂行状況」「千葉県自家検定推進協議会の解散」及び「職員の懲戒処分」について事務局から報告がありました。

また、公認会計士である金子監事から昨年度発生した不正経理の再発防止策について、約1年間にわたり監査を実施し、適切に管理・履行されている旨の報告がありました。（専務理事 富田）



中央畜産会会長賞伝達授与



審議の様子

日本の酪農応援！地方競馬ミルクウィーク2026実施！

馬事畜産振興協議会は、春休みに入り需要が落ち込む牛乳・乳製品の消費拡大の一助とするため、昨年に引き続き「地方競馬ミルクウィーク2026」を、地方競馬全国協会の補助を受けて実施しました。

本取組は、令和8年3月12日から22日までの期間、全国14か所の地方競馬場において開催され、各地域特産の牛乳やヨーグルト等の乳製品の配布や冠レースの実施を通じて、牛乳・乳製品の消費拡大に向けたPR活動を展開しました。

なお、船橋競馬場においては、令和8年3月13日に開催され、来場者への乳製品の配布を行うとともに、第6レースにおいて「千葉の酪農応援賞」の冠レースを実施し、地域酪農の魅力発信と消費拡大に寄与しました。（生産課 林）



令和8年度畜産協会事業推進体制

以下の体制で事業推進を図ります。よろしくお願いいたします。（総務課 高橋）

◎理事会		
会長理事	(非常勤)	森 英介
副会長理事	(非常勤)	5名
理事	(非常勤)	9名
専務理事	(常勤)	富田 耕太郎

◎委員会	
家畜衛生業務評議委員会	
養豚振興委員会	

◎事務局		
総務・企画部	部長 富田 耕太郎(専務理事兼務)	
総務課	課長	高橋 佐知子
	主事	山中 美穂
	臨時職員	竹之内 幸子
	臨時職員	土橋 順子
企画課	主査	飯沼 大輝
	臨時職員	瀧口 麻美
	臨時職員	藤代 直子
事業部	部長 富田 耕太郎(専務理事兼務)	
生産課	課長	金杉 文一
	技師	林 大輝
	嘱託職員	加藤 脩三
	嘱託職員	片山 雅一
	臨時職員(ナイスポーク)	酒井 順子
衛生指導課	嘱託職員	渡邊 和彦
	臨時職員	高橋 早苗
経営・環境課	主事	伊藤 力也
	技師	細井 瑛人
	嘱託職員	薫田 耕平
	嘱託職員	福島 達哉

◎畜産団体事務局	
千葉県畜産物消費拡大推進協議会	担当：企画課 飯沼
千葉県養蜂協会	担当：生産課 林
千葉県馬事畜産振興協議会	担当：経営・環境課 伊藤
ナイスポークチバ推進協議会	担当：生産課 加藤
ちば畜産レディースネットワーク	担当：生産課 金杉
NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター	担当：経営・環境課 薫田
チバザビーフ協議会	担当：経営・環境課 伊藤 企画課 飯沼
チバザポーク販売推進協議会	担当：生産課 金杉
千葉県CSF感染拡大防止対策協議会	担当：衛生指導課 渡邊

《新規職員紹介》

★事業部 経営・環境課 主事 伊藤 力也

この度、ご縁あって本協会に勤務させていただくこととなりました伊藤力也です。これまでは関係団体や役所の職員として勤務してきました。

この経験を生かし、協会の使命である、「畜産物の安定供給」と「畜産を通じた地域振興」に尽力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

★事業部 生産課 嘱託職員 片山 雅一

こんにちは。4月1日より当協会の嘱託職員として勤務している片山と申します。

主にナイスポークチバ推進協議会の事務局と地域養豚生産衛生向上対策事業を担当しています。3月31日までは千葉県職員として長年勤務し主に衛生勤務に携わっていました。家畜保健衛生所職員として巡回、各検査等で農場に伺うことも多く、お会いした時に「あれ、どこかで見た顔だな」って思う方もいるのではないのでしょうか。

各畜産経営が今後も健全に持続していけるように、今まで以上により生産者に近いところから生産者、関係者の方々と一緒に仕事をしていきたいと思っております。

今後ともよろしくお願いいたします。

令和8年度 千葉県畜産関係機関一覧表①

■農林水産部		
〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1		
TEL	職名	氏名
043-222-2800	部長	高橋 輝子
043-223-2801	生産流通戦略担当部長	座間 勝美
043-223-2803	次長	上林 明絵
043-223-2804	次長	森本 修司
043-310-3538	次長	須合 健己
■畜産課		
〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1 FAX: 043-222-3098		
部署・TEL	職名	氏名
043-223-2931	課長	江森 美香
043-223-2929	副課長(事)	福原 康光
043-223-2930	副課長(技)	山崎 直
企画経営室 043-223-2926 043-223-2927 043-223-2777 043-223-2921	主幹兼室長	吉田 喜一郎
	副主幹	有路 優子
	副主幹	田仲 景士郎
	主査	塩川 功
	主査	青木 朋子
	副主査	鈴木 良平
	副主査	林 敦也
	主事	加藤 丈太郎
	技師	熱田 麻衣
	主事	落合 颯祐
生産振興班 043-223-2939	班長	野中 太輔
	副主査	花本 威士
	技師	三根 琴美
	技師	広崎 遥夏
	技師	新沼 拓馬
環境飼料班 043-223-2943 043-223-2944	班長	野村 俊介
	主査	小山 祐介
	副主査	川瀬 晶
	技師	寺崎 亮太
家畜衛生対策室 043-223-2923 043-223-2938	副技監兼室長	藤野 晴彦
	主幹	田中 なほ子
	主査	菅 賢明
	主査	三浦 良彰
	主査	本多 芙友子
BSE 対策本部 043-223-3084	副主査	川和田 晴奈
	技師	志賀 彩加
■担い手支援課		
〒260-8667 千葉市中央区市場町 1-1 FAX: 043-201-2615		
部署・TEL	職名	氏名
043-223-2900	課長	近藤 由里子
農業経営支援班	班長	藤田 英美
専門普及指導室 043-223-2912	副技監兼室長	鈴木 純也
	主任上席普及指導	新垣 裕子

■東部家畜保健衛生所		
〒289-3182 匝瑳市今泉 7142 TEL: 0479-85-8900 FAX: 0479-85-5932		
部署	職名	氏名
	所長	島田 純
	次長	長谷部 宗史
	次長	猪俣 一陽
	次長	櫻井 紀夫
庶務課	課長	長谷部 宗史
	副主査	青手木 真希
	主事	小栗 勇志
防疫企画課	課長	石川 直子
	上席専門員	佐多 美香
	上席専門員	橘 美奈子
衛生指導課	専門員	渡邊 世奈
	課長	西川 潤
	副主幹	武石 佳夫
	副主幹	今関 智恵
	上席専門員	関野 友利華
	上席専門員	進藤 彰
	専門員	岸野 芳絵
	専門員	山崎 藍子
	専門員	角田 千春
	主任技師	高貴 秀幸
	主任技師	加藤 栄喜
	防疫課	課長
副主幹		塚原 涼子
副主幹		石原 勇人
上席専門員		上林 佐智子
上席専門員		中山 雄大
専門員		山桐 慶之
専門員		諸岡 佳恵
主任技師		蒲生 汐理
技師		阿部 久瑠美
技師		赤澤 珠季
病理生化学課	課長	萩原 妙子
	副主幹	平島 淳
	専門員	清水 耕平
	主任技師	島田 果歩
	技師	石井 瑞季
細菌ウイルス課	主事	石毛 由紀子
	課長	大坪 岳彦
	専門員	岡本 みさき
	専門員	畑中 ちひろ
	主任技師	後藤 花菜
	主任技師	小川 いづみ
	技師	金田 純直

令和8年度 千葉県畜産関係機関一覧表②

■西部家畜保健衛生所		
〒262-0011 千葉市花見川区三角町 656 TEL:043-250-4141 FAX:043-286-0090		
部署	職名	氏名
	所長	笠井 史子
	次長	木下 智秀
衛生指導課	課長	新井 友明
	上席専門員	堀畑 貴子
	専門員	藤田 圭佑
	専門員	石原 裕介
	主事	鈴木 悠介
防疫課	課長	小川 明宏
	専門員	五十嵐 直子
	専門員	八木 健
	主任技師	高梨 優希
■南部家畜保健衛生所		
〒296-0033 鴨川市八色 52 TEL:04-7092-2304 FAX:04-7092-1434		
部署	職名	氏名
	所長	江森 格
	次長	松本 敦子
衛生指導課	課長	市沢 三香
	主事	坂本 有菜
	上席専門員	阿部 敬
	上席専門員	瀧口 由貴
	上席専門員	矢嶋 真二
	技師	吉浦 風輝
	防疫課	課長
上席専門員		関根 大介
技師		松田 ふじの
技師		穴戸 陽祐
技師	山本 茉由	
■畜産総合研究センター		
〒289-1113 八街市八街へ 16-1 TEL:043-445-4511 FAX:043-445-5447		
部署	職名	氏名
	センター長	大澤 浩司
	次長	大後 勝美
	次長	菊地 里佳
	主幹	森 知夫
総務課	課長事務取扱	大後 勝美
	主事	北田 大祐
	主事	丸山 智恵子
	主事	前屋 優希
	主事	齋藤 凱
企画環境研究室	室長	丸山 武則
	主任上席研究員	青木 大輔
	主任上席研究員	松本 友紀子
	主任上席研究員	長谷川 輝明
	上席研究員	名取 美貴
	研究員	岡庭 就祐
研究員	堀口 聖也	

部署	職名	氏名
乳牛肉牛研究室	室長	大塚 洋功
	上席研究員	小林 大誠
	上席研究員	行川 貴浩
	研究員	山内 麻莉
	研究員	谷本 智里
	研究員	尾崎 望未
養豚養鶏研究室	室長	嶋村 和彦
	上席研究員	細野 真司
	上席研究員	本多 正隆
	研究員	松本 千明
	研究員	能瀬 祥吾
	研究員	山下 瀬里奈
研究員	藤平 涼央	

■畜産総合研究センター 市原乳牛研究所

〒290-0531 市原市国本 602
TEL:0436-96-1231 FAX:0436-96-0956

部署	職名	氏名
	所長	渡辺 聡
	主任上席研究員	永福 和明
	研究員	小形 次人
	研究員	小高 宏貴
	主事	金子 明美
	研究員	小倉 和也
	研究員	福島 菜月
	研究員	千葉 里桜

■畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所

〒299-2507 南房総市大井 686
TEL:0470-46-3011 FAX:0470-46-3012

部署	職名	氏名
	所長	斉藤 健一
	上席研究員	久保田 尚
	研究員	齋藤 孝太郎
	主事	青澤 海斗
	研究員	富松 大智
	研究員	富山 裕太

令和8年度 千葉県畜産関係機関一覧表③

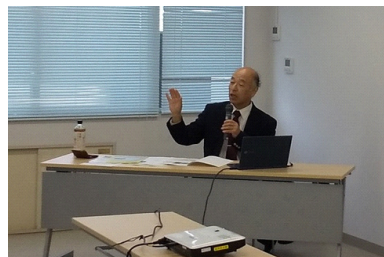
■千葉農業事務所					
課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒266-0014	主査	柴田 るり子	043-300-1985	043-293-3916
改良普及課	千葉市緑区大金沢町 473-2	上席普及指導員	岸田 雅弘	043-300-0950	043-293-2710
■東葛飾農業事務所					
課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒277-0861 柏市高田 990-1	主査	君塚 時江	04-7143-4121	04-7144-8260
改良普及課	〒277-0005 柏市柏 255-1	主任上席普及指導員	渡辺 博剛	04-7162-6151	04-7162-6154
■印旛農業事務所					
課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒285-0026 佐倉市鏑木仲田町 8-1	副主査	竹尾 駿	043-483-1129	043-485-9502
		副主査	高田 まどか		
改良普及課		普及技術員	佐々木 康成	043-483-1124	043-485-9502
		普及技術員	並木 理莉		
■香取農業事務所					
課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒287-0003 香取市佐原イ 92-11	主査	溝井 つかさ	0478-52-9192	0478-54-5617
		技師	篠塚 翔太		
改良普及課		普及技術員	清田 涼雅	0478-52-9195	0478-55-1703
		普及技術員	川原 菜華		
■海匠農業事務所					
課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒289-2504 旭市二 1997-1	副主査	村中 洋美	0479-62-0156	0479-64-2502
		技師	三木 洵那		
改良普及課		上級普及指導員	村田 美里	0479-62-0334	0479-62-4482
		普及技術員	中橋 春香		
■山武農業事務所					
課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒283-0006 東金市東新宿 1-11	主査	中山 妙子	0475-54-1122	0475-55-8614
		技師	吉澤 実生		
改良普及課		普及技術員	南村 昌孝	0475-54-0226	0475-52-7914
■長生農業事務所					
課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒297-0026	副主査	後藤 衛	0475-22-1751	0475-26-2234
改良普及課	茂原市茂原 1102-1	普及技術員	川津 夕夏	0475-22-1771	0475-25-2061
■夷隅農業事務所					
課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒298-0212	主査	中原 祐樹	0470-82-4956	0470-82-5348
改良普及課	夷隅郡大多喜町猿稻 14	上席普及指導員	三浦 千秋	0470-82-2213	0470-82-3975
■安房農業事務所					
課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒294-0045 館山市北条 402-1	技師	谷川 光	0470-22-7131	0470-22-0097
		技師	山口 純平		
改良普及課		普及技術員	菊山 亮	0470-22-8132	0470-22-0097
		普及技術員	青木 花		
■君津農業事務所					
課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
企画振興課	〒292-0833	副主査	野口 航平	0438-25-0107	0438-23-6698
改良普及課	木更津市貝淵 3-13-34	普及技術員	櫻沢 実奈	0438-23-0299	0438-23-6698

第3回PRRS地域防疫セミナー開催

令和8年1月28日（水）旭市民会館において、第3回PRRS地域防疫セミナーを開催いたしました。（生産課 金杉）

（公社）畜産技術協会の竹原先生から「マイクロMIX法と養豚場のバイオセキュリティ強化」と題し畜産現場での効率的な消毒等について講演いただきました。

- ①慢性疾病（PRRS、PCV2など）の対策は、農場内に病原体を蔓延させない畜舎洗浄が必要
- ②基本は外部・内部バイオセキュリティの強化
- ③畜産農場で広く用いられている逆性石鹼は、低温化・有機物存在下で効果が著しく減弱する。
- ④逆性石鹼に粒子径が小さい水酸化カルシウムを添加した混合液での消毒は、逆性石鹼の課題を克服する。（マイクロMIX法）
- ⑤マイクロMIX法は、幅広い病原体に対して、効果的



（公社）畜産技術協会 竹原一明 先生

続いて、アイデアススワインクリニックの早川先生より、担当するモデル農場での疾病対策について報告いただきました。

- ①畜舎新設により、豚舎間移動通路、長靴交換や動線のルールを明確化
- ②出荷豚を増やすためには繁殖基盤の強化が必須。外部導入を取り入れたが病気が動いてしまった。馴致方法が不十分であることが分かっていたため馴致方法を確立。
- ③事故ある中でも、出荷頭数が増えている。



アイデアススワインクリニック 早川結子 先生

第4回PRRS地域防疫セミナー開催

令和8年3月11日（水）ひかた市民センターにおいて、第4回PRRS地域防疫セミナーを開催いたしました。（生産課 金杉）

（有）サミットベテリナリーサービスの柴山先生から、担当するモデル農場での疾病対策について報告いただきました。

- ①課題は死産率・哺乳中の事故率が高いこと。
- ②取組みとして、交配エリアに照明を増設、見回りの強化、分娩柵に風よけビニール設置、母豚の更新強化を実施。

農研機構動物衛生研究部門の宮崎先生から「令和7年度の旭市内PRRS野外株の状況」と題し講演いただきました。

状況報告の前にPRRSの分類分けについて説明

- ①日本ではクラスターで分類しているが、国際的にはリネージで分類。
- ②クラスターⅣ（リネージ1）…北米、アジアなど世界各地で検出。
- ③クラスターⅢ（リネージ2）…日本独自のもの
- ④2006年以降、千葉と茨城で検出されているクラスターⅢ-2は新しいリネージになると言われている。
- ⑤今年度の検査422頭。うち陽性頭数304頭（陽性率72%）昨年、一昨年よりも2025年は陽性率が高い。



農研機構 動物衛生研究部門
宮崎綾子 先生



わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に
考えています。

 **森久保薬品株式会社**
<https://www.morikubo.co.jp>



肉用子牛生産者補給金制度

本制度は肉用子牛の価格が低落した場合に、生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図ることを目的としております。加入を希望する方は事務局までお問い合わせください。

また、契約者死亡、経営中止、経営移譲、個人から法人への移行等、現在の契約に変更が生じた場合は、速やかに事務委託先を通じて報告をお願いいたします。（総務課 山中）

◇肉用子牛の補償基準価格・合理化目標価格及び発動状況

（単位：円／頭）

区分		黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格		574,000	523,000	334,000	164,000	274,000
合理化目標価格		446,000	406,000	259,000	110,000	216,000
7年度 第4四半期※	平均売買価格※※	804,000	709,800	386,500	241,300	468,900
	補給金単価	-	-	-	-	-

※「その他の肉専用種」については、令和2年度から算定期間を1年（4月～3月）としている。

※※「平均売買価格」については、指定家畜市場における指定肉用子牛の取引価格から算出している。

◇生産者積立金単価及び負担割合

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
生産者積立金	1,600	6,000	20,000	5,000	2,400
国（機構）（1/2）	800	3,000	10,000	2,500	1,200
県（1/4）	400	1,500	5,000	1,250	600
生産者（1/4）	400	1,500	5,000	1,250	600

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）

本制度は、肥育牛1頭当たりの標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、肉用牛の生産者に対し、その差額の9割を交付金として交付することにより、肉用牛の生産者の経営に及ぼす影響を緩和することを目的としています。肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）に加入して経営の安定を図りましょう。（企画課 飯沼）

◇交付金の交付状況（令和8年5月12日現在）

（単位：円／頭）

区分		標準的販売価格 (A)	標準的生産費 (B)	差額 (C) = (A) - (B)	交付金単価 (D) = (C) × 0.9
令和7年 10月	肉専用種	1,191,527	1,194,223	△2,696	2,464.4
	交雑種	766,868	762,584	4,284	-
	乳用種	489,989	500,766	△10,777	9,699.3
令和7年 11月	肉専用種	1,278,558	1,193,872	82,686	-
	交雑種	789,812	757,310	32,502	-
	乳用種	488,443	515,685	△27,242	24,517.8
令和7年 12月	肉専用種	1,319,104	1,193,520	125,584	-
	交雑種	828,999	734,610	94,389	-
	乳用種	482,641	554,699	△72,058	64,852.2
令和8年 1月 ※概算	肉専用種	1,196,524	1,165,464	31,060	-
	交雑種	782,058	743,640	38,418	-
	乳用種	487,020	528,536	△41,516	30,364.4
令和8年 2月 ※概算	肉専用種	1,243,978	1,165,867	78,111	-
	交雑種	786,693	735,512	51,181	-
	乳用種	486,073	520,490	△34,417	23,975.3

注：交付金は1円単位で交付となります。

スマート畜産推進事業

①機械導入事業

生産性向上や労働時間短縮を図る機械・装置導入の取組を支援します！

◎対象機械

《酪農家》

- ①牛の日常管理に関わる省力化（機械装置名：発情発見システム、行動監視システム）
- ②哺育管理の自動化（機械装置名：哺乳ロボット）
- ③飼料給与作業の省力化（機械装置名：自動給餌機、自走給餌車、TMRミキサー、飼料タンク残量管理システム）
- ④搾乳作業の時間短縮（機械装置名：自動離脱搾乳装置、搾乳ユニット搬送レール）

《肉牛農家》

- ①牛の日常管理に関わる省力化機器（機械装置名：発情発見システム、行動監視システム）
- ②哺育管理の自動化機器（機械装置名：哺乳ロボット）
- ③飼料給与作業の省力化機器（機械装置名：飼料タンク残量管理システム）

《養豚・養鶏農家》

- ①生産管理記録を効率化するシステム（機械装置名：デジタル台帳）
- ②環境管理の自動化機器（機械装置名：畜舎環境計測システム、自動巻上カーテン、飼料タンク残量管理システム）
- ③畜舎清掃の自動化・省力化機器（機械装置名：畜舎洗浄ロボット、高温・高圧洗浄機、薬液噴霧装置）
- ④生体管理の省力化機器（機械装置名：豚体重推定装置）

◎事業要件：以下①、②のいずれかを満たすこと

- ①作業ごとに労働時間を10%以上削減する取り組みであること。
- ②生産性を10%以上改善する取り組みであること。

◎補助率：1/3以内

②モデル事業

酪農、養豚経営において、効率化・省力化を図る機械を導入し、モデル農家として現地実証に協力いただける方を募集します。

◎対象機械

《酪農家》

- ①乳頭洗浄作業の省力化等に資する機器（乳頭洗浄機）

《養豚農家》

- ①豚舎洗浄作業の省力化等に資する機器（国産畜舎洗浄ロボット）

◎事業要件

- ①事業実施前後の作業時間・生産性に関する実証データの取得・提供に協力すること
- ②事業実施前後の収支に関するデータを提供すること。
- ③事業効果等の聞き取り調査に協力すること。
- ④研修会の開催（データの開示等）に協力すること

◎補助率：1/2以内

◆**申込期限**：令和8年6月5日（金）まで

◆**窓 口**：

《酪農家》各酪農協、農協（各団体ごとに取りまとめて県酪連へ提出）

《肉牛農家》千葉県肉牛生産農業協同組合（主に繁殖経営の方）、

（公社）千葉県畜産協会（主に肥育経営の方）、

（一社）千葉県配合飼料価格安定基金協会

《養豚農家》（公社）千葉県畜産協会、（一社）千葉県配合飼料価格安定基金協会

《採卵鶏農家》（一社）千葉県農業協会、（一社）千葉県配合飼料価格安定基金協会

◆**問合せ先**：千葉県農林水産部畜産課生産振興班 TEL043-223-2939

◆羽田空港防疫キャンペーン協力参加 (2026. 2. 13)

2026年1月31日に韓国で口蹄疫が発生しました。

また、アフリカ豚熱についても、継続的な発生があり、本年1月26日には新たな地域での発生が確認されています。このような状況から、昨年に引き続き、羽田空港動植物防疫キャンペーンに千葉から5名参加いたしました。



◆第35回養豚振興プロジェクト委員会開催 (2026. 3. 3)

今年度は、「食肉処理施設再編整備に向けた生産者と関係者による意見交換会」と題し開催しました。

多くの課題はありますが、ナイスポークとしても出来ることは協力をし、推進していきたいです。



◆令和7年度第2回関東養豚協議会開催 (2026. 3. 10)

茨城県が幹事県として令和7年度第2回会議が、土浦市内ホテルで開催されました。会議には関東8県から41名が参加し、JPPAから家畜伝染病予防法改正の方向性（選択的殺処分等）について状況の説明の後、各県が抱える問題点について報告され、その内容を基に協議がなされました。



◆令和7年度海匝養豚セミナー開催 (2026. 3. 19)



旭市内ホテルにおいて令和7年度海匝養豚セミナーが開催されました。

畜総研・企画環境研究室 長谷川 輝明 氏「適切な養豚汚水処理を目指して」、アイデアス・スワインクリニック 早川 結子 氏「地域で流行している疾病と地域防疫について」と2課題が講演され、これに共済しました。

◆令和8年度県人事異動に伴い関係部署へ挨拶 (2026. 4. 9)

定期人事異動に伴い、県庁畜産課、農林水産部長室他関連部署、自民党県連、(株)日本政策金融公庫千葉支店の他、健康福祉部・衛生指導課へ挨拶に出向きました。衛生指導課では、以前から要請している「と畜場における内臓検査データの出荷者への開示」について再度対応をお願いいたしました。

また、自民党県連訪問では、折よく阿部紘一幹事長がおられ、千葉県の豚肉について懇談する機会を頂き、消費活動推進・取り組みは大切とご指導をいただきました。



NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

1. 令和8年度第1回役員会の開催

令和8年5月13日（水）、公益社団法人千葉県畜産協会会議室において、千葉県農林水産部畜産課有路優子副主幹、千葉県畜産協会 富田耕太郎専務理事のご臨席を賜り、役員11名の出席のもと、第1回役員会を開催いたしました。

2. 令和7年度主な事業活動

(1) 農場HACCP構築支援指導

県内農場HACCP認証農場のうち51農場の維持支援および認証の構築支援17農場の合計68農場の構築・維持支援に農場指導員23名（延べ431人派遣）とともに取り組みました。（農場内訳：酪農11、肉牛28、養豚21、採卵鶏6、ブロイラー2）

【今後の課題】

- ① 農場HACCPの理解促進および実践力向上を目的として、従事者向けの無料講座を継続的に実施する必要があります。
- ② 認証構築の参考となるモデル事例を整理し、畜種別の事例集として取りまとめ、関係農場へ配布することで認証取得の促進を図ります。
- ③ 農場内での自主的な内部監査体制の強化を目的に、内部監査員の育成講座を開設し、認証維持に必要な人材の確保を支援します。
- ④ パンフレットの配布や認証マークの積極的な活用促進など、消費者への情報発信を強化し、農場HACCPの認知度向上を図ります。

(2) 消費者交流・動物情操教育事業

千葉県畜産協会が実施する畜産フェアに参加し、消費者に対して畜産を正しく理解してもらうための広報に努めました。（農場HACCPパネル展示、消費者アンケート調査等）

(3) 令和7年度日本国際博覧会における食材調達コードを満たすための畜産物供給対策事業

希望する農場に対し、「持続可能性配慮の農場HACCP認証農場」指定申請書の作成指導および支援を実施しました（審査費用の1/2を補助）。その結果、乳用牛1農場、肉用牛11農場、豚6農場、採卵鶏2農場、計20農場が対象となりました。

3. 令和8年度総会及び第1回畜産研修会のお知らせ

【令和8年度総会】

日時：令和8年6月15日(月)13時30分から

場所：千葉市生涯学習センター3階「大研修室」(千葉市中央区弁天3-7-7 TEL:043-207-5811)

議事：

第1号議案 令和7年度事業報告並びに収支決算報告の承認について

第2号議案 令和8年度事業計画(案)及び令和8年度収支予算(案)の承認について

第3号議案 会費の額及び納入日について

【第1回畜産研修会】

日時：令和8年6月15日(月)14時30分頃から(総会終了後)

場所：千葉市生涯学習センター3階「大研修室」(総会と同じ会場)

研修内容：

演題1 「令和8年度主要施策について」

講師 千葉県農林水産部畜産課 副主幹 有路 裕子 氏

演題2 仮題「私と家畜衛生・畜産行政との関わり」

講師 川島 俊郎 氏(元農林水産省動物衛生課長、審議官、食品安全委員会事務局長、前畜産物輸出促進協会専務理事)



◎入会申込や畜産に関するご相談等をお待ちしております！

お問い合わせ先：NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局(千葉県畜産協会内)

TEL:043-241-1738 FAX:043-238-1255

現会員数：69会員(内、正会員個人53・団体12、賛助会員4)


令和7年度新規加入：個人会員：2名

スーパーマーケットトレードショー2026が開催されました


令和8年2月18日（水）～20日（金）の3日間にわたり、幕張メッセ全館において、一般社団法人全国スーパーマーケット協会が主催する第60回スーパーマーケットトレードショー2026が開催されました。千葉県ブースでは、旭食肉協同組合の「千葉県産いも豚」、（株）ヒラノの「笑顔大吉ポーク」が出展されました。




.....（生産課 金杉）



ちば畜産 レディースネットワーク



畜産に携わる女性のみなさん、
一緒に活動しましょう！
会員募集中です。



畜種を超えて手をつなぎませんか？
小さな私たちの声を大きく発信しましょう！

畜種を超えた女性たちが集まるグループです。
お互いの交流を深め、畜産女性の声を発信する場や情報交換の場として活動しています。
（情報発信・情報交換、研修会・交流会など）

ちば畜産レディースネットワーク事務局（公益社団法人千葉県畜産協会 内）
〒260-0021 千葉市中央区新宿1-2-3 K&T千葉ビル3階
TEL:043-241-5417 FAX:043-238-1255



公益社団法人
中央畜産会

中央畜産会 
TEL.03-6206-0840

東京都千代田区外神田2-16-2
第2ディーアイシービル9F

国産の牛乳、お肉、卵を 食べてまもろう

畜産物を生産するためのコストが上昇しています。
皆様に国産の畜産物を食べていただくことが生産者の応援に繋がります。

全国の畜産会組織は地方競馬の売上の一部を活用して、日本の畜産振興に取り組んでいます。

「食の安全・安心」のための第1歩は、
「法令遵守」であることを
改めて認識してください。

地方競馬の収益金は
畜産の振興に
役立てられています。



部 署		TEL	FAX
総務・企画部	総務課	043-242-5417(代)	043-238-1255
	企画課	043-242-6333	
事業部	経営・環境課	043-241-1738	
	衛生指導課	043-241-1738	
	生産課	043-241-3851	
Eメール：info@chiba.lin.gr.jp		URL http://chiba.lin.gr.jp	